

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

	作成日	令和6年12月18日				
(1)医療機関名	弘前大学医学部附属病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	67.0%		再診基準	27.2%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	10.6%	29.0%	54.3%	10.6%	16.8%	2.1%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	96.4%		逆紹介率	81.9%	
(6)地域医療支援病院等	☒ 特定機能病院 ☐ 地域医療支援病院					
(7)病床数	一般病床	597床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 ※考え方を記入してください	特定機能病院である本院は、高度医療の提供、高度急性期機能及び急性期機能の役割を担っており、医療資源を重点的に活用する外来を行っているため。					
(9)紹介受診重点医療機関としての今後の方針	引き続き、他医療機関と連携し、本院の役割を果たしていく。					
(10)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和6年度第2回青森県（津軽地域）地域医療構想調整会議)					
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和7年4月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

				作成日	令和6年12月23日	
(1)医療機関名	独立行政法人国立病院機構弘前総合医療センター					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	56.2%		再診基準	26.9%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	9.2%	35.8%	32.9%	13.1%	14.6%	2.6%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	71.5%		逆紹介率	64.5%	
(6)地域医療支援病院等	☐ 特定機能病院 ☒ 地域医療支援病院					
(7)病床数	一般病床	442床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 ※考え方を記入してください	当院の病院機能として、高度の医療を提供する立場から外来についても医療資源を重点的に投入する必要がある患者を診療することが役割だと考えている。 また、外来機能報告等に関するガイドラインにおいて、地域医療支援病院が紹介受診重点医療機関となることが望ましいとされていることから当院も担うべきと考えている。					
(9)紹介受診重点医療機関としての今後の方針	引き続き高度医療を提供し、紹介患者に対する医療を地域の医療機関等との連携を密にし、地域医療の充実を図って行く。 また、症状が安定した患者に対しては、地域を支えてくださるかかりつけの先生方へ積極的に逆紹介を行う。					
(10)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和6年度第2回青森県（津軽地域）地域医療構想調整会議)					
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和7年4月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

				作成日	令和 6 年 1 2 月 2 5 日	
(1)医療機関名	弘前中央病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	70.3%		再診基準	49.3%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	10.6%	51.7%	38.8%	8.7%	42.9%	1.3%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	44.3%		逆紹介率	65.2%	
(6)地域医療支援病院等	☐ 特定機能病院			☐ 地域医療支援病院		
(7)病 床 数	一般病床	114床		療養病床	59床	
(8)「意向があり」 の理由 ※考え方を記入してください	当院では透析患者・呼吸器疾患・血管外科疾患などの患者を多く取り扱っています。紹介受診重点医療機関としての役割を果たしていきたいと考えます。					
(9)紹介受診重点 医療機関としての 今後の方針	当院では「人工透析」・「放射線治療」・「血管外科手術」など特徴的な機能を有しています。そのため他県や津軽地域外の医療機関からの患者紹介があります。今後もかかりつけ医や地域内外の医療機関と連携し、迅速な対応と効率的な医療提供体制の構築に務めます。					
(10)協議の場における 協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和6年度第2回青森県（津軽地域）地域医療構想調整会議)					
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和7年4月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準×、意向○）

				作成日	令和 6年 12月 27日	
(1)医療機関名	鳴海病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	77.7%		再診基準	23.2%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	1.0%	76.1%	34.1%	4.4%	19.4%	1.8%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	73.7%		逆紹介率	78.2%	
(6)地域医療支援病院等	☐ 特定機能病院 ☐ 地域医療支援病院					
(7)病 床 数	一般病床	42床		療養病床	74床	
(8)「意向があり」 の理由 ※考え方を記入してください	引き続き紹介受診重点医療機関に指定されることにより、当院の役割を明確化し外来診療において患者の待ち時間の短縮、勤務医の負担軽減に繋がると考えているため。					
(9)今後、基準を満たす蓋然性 ※客観的な根拠を基に、説明してください	検査・処置を伴わない再診の外来患者が令和6年4月から10月までで約24%となっているため、処方済みの症状が安定した患者に対して他院に通院できるよう逆紹介を推進する。また入院患者の術前及び術後検査の外来化を推進していくことで再診基準を達成できると考える。					
(10)基準の達成に向けたスケジュール ※欄に収まらない場合は、資料を添付してください	年 月	具体的な取組			基準の状況	
	令和7年3月	症状が安定している患者の逆紹介を推進			初診：	再診：24.0%
	令和7年5月	術前及び術後検査の外来化・逆紹介の推進			初診：	再診：25.0%
					初診：	再診：
					初診：	再診：
(11)協議の場における 協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和6年度第2回青森県（津軽地域）地域医療構想調整会議)					
(12)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和7年4月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

				作成日	令和 6 年 12 月 19 日	
(1)医療機関名	八戸市立市民病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	64.2%		再診基準	28.2%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	9.4%	28.8%	20.3%	14.5%	19.7%	0.0%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	87.1%		逆紹介率	140.1%	
(6)地域医療支援病院等	☐ 特定機能病院 ☒ 地域医療支援病院					
(7)病 床 数	一般病床	572床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」 の理由 ※考え方を記入してください	地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院等の指定を受けており、地域の中核病院として高度急性期及び急性期機能の役割を担っているため。					
(9)紹介受診重点 医療機関としての 今後の方針	今後も地域の医療機関と連携し機能分化を図りながら、高度・急性期医療の提供を中心に、医療資源を多く投入し高度な医療機器・設備等を必要とする患者を重点的に受入れていく。					
(10)協議の場における 協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和 6 年度第 2 回青森県（八戸地域）地域医療構想調整会議)					
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和 7 年 3 月 1 日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

	作成日	令和6年12月20日				
(1)医療機関名	八戸赤十字病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	60.3%		再診基準	27.6%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	9.4%	41.1%	32.9%	11.5%	17.5%	2.2%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	82.2%		逆紹介率	136.8%	
(6)地域医療支援病院等	☐ 特定機能病院 ☒ 地域医療支援病院					
(7)病床数	一般病床	374床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 ※考え方を記入してください	地域医療支援病院や災害拠点病院等の指定を受けており、地域の中核病院として高度急性期及び急性期機能の役割を担っているため。					
(9)紹介受診重点医療機関としての今後の方針	地域のクリニックを中心に各医療機関と連携し機能分化を図りながら、高度・急性期医療の提供及び高度な医療機器・設備等多くの医療資源を必要とする患者を重点的に受入れている。					
(10)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和6年度第2回青森県（八戸地域）地域医療構想調整会議)					
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和7年3月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準×、意向○）

				作成日	令和6年12月20日	
(1)医療機関名	独立行政法人労働者健康安全機構青森労災病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	36.9%		再診基準	26.8%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	9.0%	31.7%	4.1%	12.1%	18.3%	5.7%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	79.0%		逆紹介率	61.3%	
(6)地域医療支援病院等	☐ 特定機能病院 ☒ 地域医療支援病院					
(7)病床数	一般病床	300床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 ※考え方を記入してください	紹介受診重点医療機関に認定していただくことで、地域医療支援病院として更なる地域医療の貢献を担っていけると考えるため。					
(9)今後、基準を満たす蓋然性 ※客観的な根拠を基に、説明してください	初診基準が未達成となっているが、救急搬送や緊急紹介患者からの入院の受入れ強化、広報活動やネット上の情報ツールへの掲載による機器の共同利用の推進や健康診断からの精密検査患者の受入れ強化を図り、更なる紹介や機器の有効活用を推進し基準の達成を目指す。 なお、基準を満たしていない初診基準率については、令和6年度実績（4～11月）で38.2%となっており今後も率が上昇する見込みである。					
(10)基準の達成に向けたスケジュール ※欄に収まらない場合は、資料を添付してください	年 月	具体的な取組			基準の状況	
	2025年4月	広報誌、講演活動や施設・病院への訪問による広報			初診：37.7%再診：26.8%	
	2025年7月	地域交流会等による医療機器共同利用の広報			初診：38.5%再診：27.3%	
	2025年10月	連携協議会等開催による連携強化			初診：39.3%再診：27.8%	
	2026年1月	広報誌、講演活動や施設・病院への訪問による広報			初診：40.0%再診：28.3%	
(11)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 （令和6年度第2回青森県（八戸地域）地域医療構想調整会議）					
(12)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和7年3月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

				作成日	令和 6年 12月 26日	
(1)医療機関名	青森県立中央病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	59.0%		再診基準	28.1%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	10.7%	33.0%	37.9%	13.2%	16.2%	2.0%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	70.6%		逆紹介率	81.5%	
(6)地域医療支援病院等	☐ 特定機能病院			☒ 地域医療支援病院		
(7)病床数	一般病床	579床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」 の理由 ※考え方を記入してください	当院は、手術・処置・化学療法や、放射線治療等の医療機器・設備が必要な患者を対象とする外来を主に提供している。これまでも紹介受診重点医療機関として、前述の医療を提供してきているが、引き続き継続し外来機能の役割分担を明確化したいため。					
(9)紹介受診重点 医療機関としての 今後の方針	これまでどおり主に医療資源を重点的に投入する必要のある外来患者に対応し、紹介・逆紹介の更なる促進を図ることで、医療機能を明確化し、外来機能の役割分担を図りたい。 ついでに、院内スタッフの外来業務負担軽減による業務の効率化や、医療資源の集約による経営改善など多岐にわたる課題の解決に向け、引き続き取り組みたい。					
(10)協議の場における 協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和6年度第3回青森県（青森地域）地域医療構想調整会議)					
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和7年3月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

				作成日	令和 6 年 1 2 月 2 5 日	
(1)医療機関名	青森市民病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基 準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	48.8%		再診基準	27.8%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	8.4%	28.5%	28.8%	10.7%	18.1%	1.8%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹 介 率	82.5%		逆紹介率	84.3%	
(6)地域医療支援病院等	☐ 特定機能病院 ☒ 地域医療支援病院					
(7)病 床 数	一般病床	459床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」 の理由 ※考え方を記入してください	平成24年に地域医療支援病院の承認を受けており、その役割を担っているところだが、紹介受診重点医療機関に指定されることにより、改めて当院の役割を地域に示し明確化できるため。医師の働き方改革が求められている中、外来診療における勤務医の負担軽減も期待できると判断したため。					
(9)紹介受診重点 医療機関としての 今後の方針	現在、地域医療支援病院として、地域の「かかりつけ医機能を担う医療機関」を受診し、必要に応じて紹介を受けた患者の治療をし、状態が落ち着いた後には逆紹介するなど、地域のかかりつけ医との連携を強化しているところ。今後も当院の役割や病院機能を維持していく方針である。					
(10)協議の場における 協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和6年度第3回青森県（青森地域）地域医療構想調整会議)					
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和7年3月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準×、意向○）

				作成日	令和6年12月18日	
(1)医療機関名	つがる西北五広域連合つがる総合病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	48.3%		再診基準	22.9%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	4.7%	30.8%	24.8%	8.5%	14.7%	2.0%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	57.9%		逆紹介率	83.4%	
(6)地域医療支援病院等	☐ 特定機能病院 ☐ 地域医療支援病院					
(7)病床数	一般病床	390床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 ※考え方を記入してください	当院は圏域における中核病院として、救急・専門医療を集約的に担っているが、外来患者についても当院に集中しているため、患者待ち時間が長く、医師の外来業務負担も厳しい状況となっている。紹介受診重点医療機関として重点外来の基幹的役割を担うことを明確化し、地域医療連携を図ることで、当院の役割・機能を十分に果たしていくため。					
(9)今後、基準を満たす蓋然性 ※客観的な根拠を基に、説明してください	再診基準について基準を満たしていないが、検査・処置を伴わない再診の患者に対し、逆紹介を推進するとともに、クリニカルパス等の見直しにより入院患者の術前及び術後検査の外来化を推進していくことで、基準を満たす見込み。 なお、分析ツール「MDVACT」を用いて令和6年4月から9月までの再診基準を推計したところ、26.9%となっており上昇傾向にあるため、今後、基準を満たす蓋然性があると考えている。					
(10)基準の達成に向けたスケジュール ※欄に収まらない場合は、資料を添付してください	年 月	具体的な取組			基準の状況	
	令和7年2月	術前及び術後検査の外来化・逆紹介推進			初診：48.3% 再診：24.0%	
	令和7年4月	術前及び術後検査の外来化・逆紹介推進			初診：48.3% 再診：25.0%	
					初診： 再診：	
					初診： 再診：	
(11)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 （令和6年度第2回青森県（西北五地域）地域医療構想調整会議）					
(12)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和7年4月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

	作成日	令和6年12月25日				
(1)医療機関名	十和田市立中央病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	57.7%		再診基準	26.4%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	7.9%	39.9%	10.0%	8.8%	14.4%	3.2%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	92.5%		逆紹介率	107.5%	
(6)地域医療支援病院等	☐ 特定機能病院 ☒ 地域医療支援病院					
(7)病床数	一般病床	315床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 ※考え方を記入してください	以下により、当院は紹介受診重点医療機関と同等の機能を有していると思われますので、対象医療機関の意向有りといたします。 ・紹介率及び逆紹介率の参考の水準を満たしている。 ・地域の医療機関との機能分化及び連携を充実し地域医療の確保を支援する「地域医療支援病院」を令和元年10月に取得している。 ・当院において、入院、救急、放射線治療及び化学療法等の急性期医療の提供が可能であり、重点医療機関としての役割を果たすことができる。					
(9)紹介受診重点医療機関としての今後の方針	当院においては、今後も専門的な検査や治療を提供を行い、地域の医療機関と機能分化及び連携を図ってきたと考えている。					
(10)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和6年度第3回青森県（上十三地域）地域医療構想調整会議)					
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和7年4月1日）					